連携室便り

発行日：令和７年５月
取手北相馬保健医療センター
医師会病院
医療連携室便り
―第 48 号―

病院長ご挨拶

取手北相馬保健医療センター医師会病院
病院長　鈴木　武樹

満開の桜の時期も瞬く間に過ぎ４月も中旬となりました。６年ぶりに取手市医師会と病院の花見の会が開宴され楽しい新年度のスタートとなりました。ご参加いただいた医師会理事、会員の先生方には改めましてお礼申しあげます。おかげさまで令和６年度の病院の収支決算は、厳しい状況の中何とか７年連続の黒字となる見込みです。詳細は６月の定時医師会総会で報告させていただきます。

さて令和７年度のスタートとなりますが、自由裁量権の極めて少ない医療界において、昨年の診療報酬改正以来、逆風が吹いています。このことは当院だけのことではありませんが、従来通りの対応では厳しい状況になってきていると考えています。人材確保のための人件費・食材料費・医療器材・光熱費・委託業者（調理、清掃、医療廃棄物等）の契約料等の増加に対する支出増が予想されます。さらに今年度は病院基本構想委員会で設定した病院改築・改装計画案における収支改善期間の最終年度となります。ただ黒字化するのではなく内部留保を十分確保するという重い課題があります。職員一同気を引き締めて臨む覚悟です。具体的には病床利用率 75％を確保するため、先生方の紹介数、救急車の受容数を増やすことを第一目標とします。奇をてらった手を打つのではなく、地域の医療ニーズに即した医療を粛々と行って地域よりの信頼を得ることを基本に、新たな診療科目の設置が肝心と考えています。DM・CKD といった生活習慣の改善がポイントである疾患に対して４月より筑波大の山縣邦弘教授の外来を開設し、人工透析への回避のための治療、指導をいただくこともその一環であります。対象患者がいらっしゃる場合は連携室にて予約をお取りください。今年度も宜しくお願いします。

乳腺撮影装置更新のお知らせ

この度、乳腺撮影装置（富士フイルムメディカル株式会社 デジタルマンモグラフィ AMULET SOPHINITY）を導入し、マンモグラフィ専用の撮影室も新設いたしました。

今回導入した装置は、直接変換方式フラットパネルを使用しており、非常に高い画素（最小画素サイズ 50μm）での表示が可能です。これにより、微小石灰化を細かく表示することが可能で、乳がんの診断能向上に貢献することが期待されます。また、新たな画像処理によりノイズを低減し、乳房内の微細構造を鮮明化するとともに、従来の 50%以下の照射線量による撮影を実現しています※1。

本装置は受診者に優しい「思いやり設計」をコンセプトに開発されており、痛み軽減を目的とする圧迫自動減圧制御機能を搭載しています。この機能は、通常の圧迫完了後に、乳房の厚みが変化しない範囲（±3mm）で圧迫圧を減圧する機能です。また、ヒステリシス※2 現象を利用し、通常の圧迫方法よりも、最大圧迫圧時間を低減する機能を使用することも可能です。

今回新設した撮影室は、受診者が検査時に感じる心身のストレスを軽減するような環境づくりを心掛けた設計となっております。また、当院はマンモグラフィ検診・画像施設認定を取得しており、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師の資格を有する技師も複数名在籍しております。今後も受診者に寄り添い優しく精度の高い検査を目指してまいります。

日本人女性の罹患率が最も高いがんは「乳がん」です。今回導入した最新の装置を乳がんの早期発見にお役立ていただければ幸いです。

※1 PMMA40 ㎜使用　　※2 ヒステリシス：物質や系の状態が、過去に加わった力の経過に依存する現象

放射線

乳腺撮影装置「デジタルマンモグラフィ

AMULELT SOPHINITY」を新設しました

最新のマンモグラフィ装置を導入し、撮影室もリニューアルを行いました。
是非、当院での新しいマンモグラフィ検査をご利用ください。

ご予約は下記へお電話ください

医療連携室

☎ ０２９７−７８−６１８３（直通）

各種検査のご依頼について

当院では近隣の医療機関から検査依頼を受け付けております。
「検査依頼」とは、診察は行わず検査のみ、または撮影と読影のみを行うものです。地域の先生方に当院の MRI、CT 装置などの検査機器をご利用いただき、患者さんの治療にお役立ていただければ幸いです。

検査の種類

- CT
- MRI
- 上部内視鏡
- 下部内視鏡検査
- 超音波検査
- ホルター心電図
- 骨密度検査
- マンモグラフィ検査
- 脳波検査

お電話でお問い合わせ頂き、ご予約日時を調整させて頂きます。

☎ ０２９７－７８－６１８３(直通)

（平日８：３０～１６：３０　土曜日８：３０～１２：００）

直接電話が繋がらない場合は、お手数ですが、病院代表電話へおかけ直しください。

０２９７－７８－６１１１（代表）

『腎臓内科』開設のお知らせ

筑波大学附属病院 腎臓内科教授 山縣邦弘先生の外来が始まりました。

当面は、毎月第２金曜日 午前 完全予約制です。

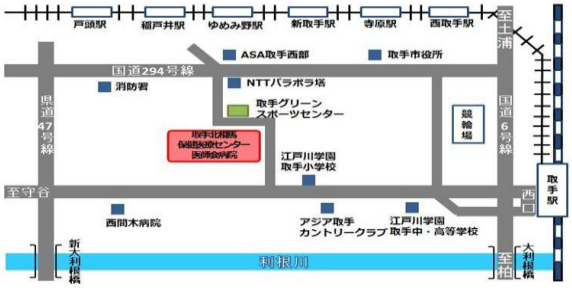
まだ、重篤な方の継続治療には対応困難ですが、ご高齢、高血圧症、糖尿病などで腎臓機能がわずかに異常な方などへのアドバイスを通じて、腎不全や透析導入回避などへの貢献をさせていただきたいと考えております。

ご紹介患者やご相談症例がございましたら、医療連携室までご相談いただければ幸いです。

取手医師病院の理念　Heart（心・優しさ）

- H ー優しさに溢れた医療（Hospitality）
- E ー迅速で効率的な医療（Efficient）
- A ー向学心に満ちた医療（Academic）
- R ー充実した地域医療（Regional）
- T ー信頼感のある医療（Trustful）

交通アクセス



公益社団法人取手市医師会

取手北相馬保健医療センター医師会病院

医療連携室

受付時間　平日　8:30～17:00　土曜日　8:30～12:30

TEL　０２９７－７８－６１８３（直通）

０２９７－７８－６１１１（代表）

FAX　０２９７－７８－６１８４（直通）

Eメールアドレス　mail@t-ishikaihp.jp

ホームページアドレス　http://www.ishikaibyouin.or.jp/